



県営工事等に係る岩手土木センターとの意見交換会



断熱化工事が行われた江刈中学校の教室



荒沢口橋の架け替え工事



大橋の架け替え工事

## 政務調査会研修会



### 議会の機能強化へ ～質問・質疑のあり方を学ぶ～

政務調査会（高宮一明会長）は7月22日、岩手県町村議会議長会の米田武美参与を講師に、「質問・質疑のあり方」について研修会を開催しました。

米田参与は、町議会や県議長の事務局長としての経験から、効果的な一般質問を行うための心構えや調査方法、組み立てなど具体的な事例を交えて説明。議員個々の質問力の向上により、議会全体の機能強化を図ることが重要であると話し、議案などの質疑についても、その目的のポイントを突き、事前調査を十分行い、町政の進展や町民全体の福祉向上に、どれだけの効果があるかという視点が最も重要であると力説しました。

当議会の定例会議では、議案審議を輝くふるさと常任委員会に付託しており、質疑に十分な時間を確保し、一問一答方式で納得いくまで質疑、答弁を繰り返すことができる仕組みとなっていることから、充実した質疑の重要性を再認識した研修会でした。



米田武美参与

## 田子地区河川改修 早期完成を強く要望

### 岩手土木センター との意見交換会

県の発注工事は、荒沢口橋架け替え工事、国道281号葛巻地区県単凍雪対策工事（茶屋場、田の沢の流雪溝改修）、馬淵川治水施設整備事業（役場裏から田子橋までの河川改修）、砂防又ナヤ沢（古川戸）について、現地で工事の状況や今年度の予定されている箇所などの説明を受けました。

調査終了後、県営工事等に係る意見交換会で県の担当者から、今後の進め方などの説明を受けました。当議会からは、田子橋付近から上流の馬淵川の河川改修について、福祉施設の周辺でもあり、早期の着工、完成を強く要望しました。

今後も県と町が情報共有、連携し進めて行くことを確認しました。本町関連の主な事業内容は、下の表のとおりです。

#### 《県事業の内容》

種別	工事の内容	工事年度
道路	R 281流雪溝の補修（大明神）	R 2年度
	R 340荒沢口橋架け替え	H29～R 2年度
	R 281大坊地区道路拡幅（岩手町）	H25～R 2年度
河川	馬淵川施設治水施設整備事業（田子）	R 2～8年度
砂防	ヌナヤ沢砂防事業（ダム1基：古川戸）	H24～R 2年度
	市部内の沢砂防事業（ダム2基）	H21～R 2年度

## 順調に進む 現地で状況を確認

### 19町・県工事など 箇所を調査

今回の調査では、町道葛巻浦子内線の大橋など2年度の工事箇所の進捗状況や、元年度に完了した学校施設などの状況を調査しました。

町道葛巻浦子内線道路改良事業では、現在、大

橋の架け替え工事で下部工（土台部分）が順調に行われており、今年度は上部工（橋桁）も発注予定との説明を受けました。この事業は、道路改良を含め、5年度の完了を目指しています。

寺田地区の農道整備事業は、農作業機械の大型化などにより、作業や通

行に支障をきたしている地域の方々の要望があった箇所です。

江刈中学校の施設改修は、主に教室や保健室などの断熱化が行われました。1月に議会で実施した中学生との懇談会で、生徒から「体育館も隙間が多く、冬は寒い」という声もあり、「もう少し対応が必要ではないか」との意見が出ました。

五日市保育園の冷房設備工事では、規模や施設の老朽化などから冷房機が1室のみの設置となっており、「計画的な施設改修が必要ではないか」などの意見が出ました。

社会体育館のトレーニング機器整備事業では、高齢化が進む中で、「若者だけでなく、元気な高齢者の健康維持のため、日中に利用しやすい手立てがほしい」という要望がありました。

## ハード事業を調査

### 輝くふるさと常任委員会 所管事務調査

輝くふるさと常任委員会（鈴木満委員長）は6月3日、元年度に完了した事業と2年度に実施する工事場所などの調査のため、町内を視察しました。

同日、盛岡広域振興局土木部岩手土木センター（沖野智章所長）と「県営工事等に係る意見交換会」を開催。鈴木町長、觸澤副町長も出席、県の道路整備事業などについて意見を交わしました。

五日市保育園の冷房設備工事では、規模や施設の老朽化などから冷房機が1室のみの設置となっており、「計画的な施設改修が必要ではないか」などの意見が出ました。